

社会福祉法人安房広域福祉会 広報誌

にじのかけはし

vol.

50
2020.08



発行年月日
令和2年 8月1日

発行
社会福祉法人 安房広域福祉会
〒294-0231 千葉県館山市中里291
TEL 0470-28-2422
FAX 0470-28-2424
<http://www.nakazato.or.jp/>

中里の家

こんな時だからこそ

中里の家 施設長 畠山 正昭

新型コロナウイルスの感染予防対策として利用者、職員の健康管理や施設内の衛生管理など対応しているところであります。特に利用者の方々は見通しの立たない状況であるため、施設での生活において私たち支援者の工夫が必要とされています。

中里の家では毎月支援目標を設定しており、6月は「楽しみを見つけよう」~楽しい日常を過ごしてこの時期を乗り切ろう~と余暇の過ごし方を考え実践しております。外食が難しいためドライブスルーの利用やテイクアウトして施設で小グループでのランチをしたり、お菓子作りやグランンドにてレクリエーション大会を行ったりと少しでも楽しんでいただけるよう取り組んでおります。

また、家庭への外泊もできないため、家族へ電話連絡をして会話したり、手紙にて近況を報告しております。

今後、地域の状況を把握し感染症予防対策を継続しながら、徐々に日常生活に戻していくかと考えております。こんな時だからこそ、これから施設生活を考える良い機会であり、今までとは違った新たな生活のしかたが求められてくるのではないかと感じております。時代や環境の変化に対応して利用者が安心して暮らせる施設づくりを今後も目指していきたいと思います。



中里の家

元気いっぱいに!!

支援員 山田 正人

5月15日に中里グランドにてレクリエーション大会を実施しました。毎年法人内の他事業所と合同で実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、中里の家ののみでの実施となりました。実施するか否かについては職員の中でも葛藤がありました。ですが、3月から外出やイベントの自粛を実施しているなかで、利用者さん皆さんが抱えているであろうストレスを、少しでも発散できる時間をつくりたいと考え、実施することとなりました。対応として密閉空間を避ける為、グランドでの実施、種目を少なくし例年より時短での開催としました。

当日は快晴に恵まれ、皆さん笑顔で元気よく体を動かす事ができました。パン食い競争や職員の仮装リレーなどが特に盛り上がっていました。『楽しかった』などの声を利用者さんからたくさん頂くことができ、嬉しく思いました。今後も安心・安全な対策を確保しながら、楽しく過ごしていただける企画を立て、実施していくことを考えております。



中里の家

じゃがいも掘り

支援員 小原 美由紀

単純な作業ですが意外と奥の深い「じゃがいも掘り」!! ポテトサラダやフライドポテトなどの料理にしても美味しいですよね。3月から育ててきましたじゃがいもの収穫作業の様子をお知らせしたいと思います。

昨年、イノシシの被害で収穫できなかつたじゃがいもは、防獣ネットを設置した事で被害を受けることなくすくすくと大きく育ち、たくさん収穫できました。土をほぐし取りやすい様にすると、土の中から大きなじゃがいもがゴロゴロ出てきます。手を使って土を自分でかき分け探し出す人、「見つけた」と嬉しそうな声で教えてくれる人もいました。

暑かったので汗をかきながらの作業となりましたが、収穫の喜びを皆で感じた日になりました。収穫したじゃがいもは、その日のうちに中里の家とワークホームに納品しました。美味しい新じゃが料理となつて食べられる日を楽しみにしています。



桜の里

新天地

支援員 加藤 智大

令和2年4月より桜の里に勤めさせていただいております加藤智大と申します。平成22年4月に入職し、中里の家で10年間お世話になりました。利用者さん・ご家族の皆様お元気ですか?私は元気です。

早いもので桜の里に勤めて3ヶ月が経とうとしています。通所の施設は初めての経験で驚きと発見の毎日を過ごしています。なるべく早く皆様と打ち解けられるよう笑顔を忘れず丁寧な支援を心掛けていきたいと思います。



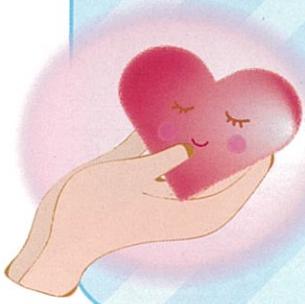
支える

副施設長 近藤 大介

現在いまだ収束しない新型コロナウイルス対応の中、令和2年度がスタートしました。少しずつブルーシートが減ってきた矢先の新型コロナウイルス。本当ならば東京オリンピックの熱気の中利用者、職員ともども新たな気持ちを抱いて迎えるところ、不安の中のスタートとなつことは否めないとこです。

そんな中今年度は大きな課題が残されました。昨年9月千葉県で猛威を振るつた台風。安房では初めてと言つていいほどの被害に見舞われました。施設でも数日に及ぶ猛暑の中の停電。幸いにも建物に大きな被害は有りませんでしたが、あまりの暑さで眠ることができませんでした。また、普遍的に行つていた生活ができない夜を過ごしました。また、普段的に行つていた生活ができないもどかしさや、通信手段が全く使えない不安な日々を過ごしたことを思い出します。そして年が明けて今なお続く新型コロナウイルス。

私たちは「安心した生活」と言葉にすることがとても多く、職員誰もが利用者の皆さんに「安心した生活」を考えています。しかしながらその安心に対してもう一度見直すことが大切だと考えさせられます。食べる安心、寝る安心、働く安心。利用者の皆さんや地域の方々に対し、いかに「安心した生活」を支えていくことが今後の役割だと感じます。



田植えを終えて

支援員 小笠原 純

いつも当たり前に食べているお米は、どのように作られているのか知っていますか?どんな作業があるのかを少しだけ紹介させていただきます。まずは水田の準備をします。トラクターで土を耕し、その後くろ塗りをします。くろ塗りは水漏れがないようにする為にとても大切な作業です。その後荒代掻きという、土と水を攪拌させる作業を行います。その後代掻きをし、水田を平にします。水田の深さで機械が動かなくなってしまうこともあります。とても大変な工程でした。その後やっと田植えに入るのですが、真っすぐ植えるのはとても難しい作業でした。

全体の作業を通して暑さにも苦労しました。大量の汗をかくので毎日着替えを持参です。普段日焼けしてもすぐ皮がむけて色が戻る体質なのが、田植えを終えて2か月経つても、肌が黒くなっています。日焼けした分お米がおいしくなるといいなと思います。

米作りをしたことでお米を食べられることのありがたさがわかりました。これからは、お米を残さず食べることはもちろんしっかり味わって食べたいと思います。

またお米は、中里ワークホームの工賃において、とても大きな収入の割合を占めています。おいしいお米がたくさん収穫でき、たくさんの工賃をご利用者様に出すことができ、おいしいお米を食べて、たくさんの笑顔を見ることができます。



▲4月下旬



▲7月中旬



桜の里

ありがとうのカーネーションを作ろう！

支援員 相馬 紫保

「母の日」令和2年5月10日。桜の里では日頃の感謝を込めて、カーネーション作りをしました。作り方は至って簡単です。まず、赤色、ピンク、黄色、青色とさまざまな色の折り紙の中から好きな色を選び、それを花びらになる様にハサミで切り、茎となる緑色のストローに巻き付けて、リボンを付ければ完成です。

皆さんお母さんへの気持ちが大きい様で楽しそうな雰囲気の中にも集中力がすぐれ出来上がりはあるで本物の様…？沢山の個性的なカーネーションが出来ました。喜んで頂けたこと間違いないし、母の日だけではなく、いつでも感謝の気持ちで「ありがとう」と言葉にしたいものです。



ワークス 館山

コロナ禍の中で

主任 江部 徹

ワークス館山では通所でご利用される方々に、安全対策として日頃から徹底していただいている薬用石鹼での頻繁な手洗いに加え、マスクの着用、自宅での検温、手指消毒液の設置などを主に、普段より間隔を広げて作業に従事していくだけ取組みをしてきました。実際に、風邪をひく方がほとんどいらっしゃらないこれから、一定の効果が出ているのだと実感することができました。

この状況はもう少し続く気配ではあります、皆で力を合わせて乗り切っていきたいと思います。

5

綺麗な花を届けよう

支援員 戸田 幸輝

やつてまいりました花苗の季節!今回の花苗は、マリーゴールド、ヒマワリ、そして新たに日日草とケイトウも育てております。日日草とケイトウは今回初めての試みでしたが順調に育っております。しかし、新型コロナウイルスの影響を受け、どうなってしまうか不安もありましたが、たくさんの方々から花の注文をいただき大変うれしく思います。

利用者の皆様にも花苗の栽培・管理など多く携わっていただき今では綺麗な花が咲いております。これからも利用者さん職員、一致団結して綺麗な花をお届けできるよう頑張ってまいりたいと思います。



休業明け「ここが開いてないと寂しいね」「もうやらないのかとおもったよ」「ここがあるとたすかるよ」地域の方々にたくさんお声掛けをいただきました。皆様に頼りにされているのかと、とても嬉しい思いです。これからも多くの方々にご来店いただき、気持ちの良い空間を作りたいと、清掃を徹底したりポスターや不要な什器を片付けたりと環境整備に取り組んできました。

今ふれあいショップでは人気の完熟トマトをはじめ新鮮野菜に力を入れつつ、観光土産から地域の方々のニーズにマッチする商品の品ぞろえに取り組んでいます。

毎年開催している「朝顔・ほおずき市」も今年は中止しましたが、中里の家で栽培した朝顔は販売しました。また今後喫茶コーナーや軽食にも力を入れていきたいと思います。そうそうワークホームで梅製品として梅ジャムや梅ジュースができています。梅ジュースは喫茶で梅ソーダにしてお出ししますので是非お試しください。暑くなつてしまないので「かき氷」も始めます。梅シロップのかき氷もおすすめですよ。この夏の一押です。



みなさんのお声が嬉しい

ふれあいショップ 平砂浦

こすもす

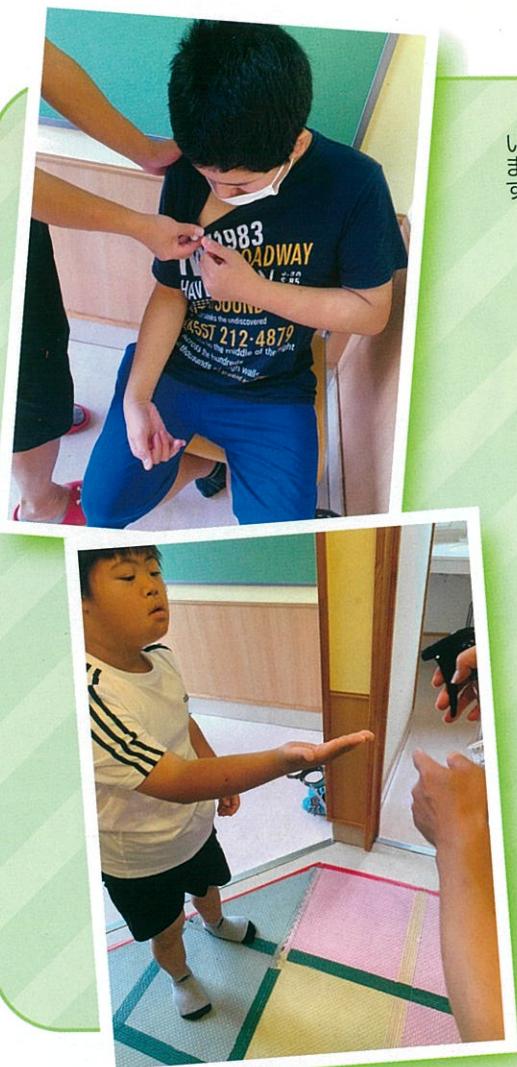
まもりたい笑顔がここにある

施設長 押元 昇

「コロナってだあれ?」小さな女の子の一言。小さな子供の耳にも届くほどかと、この現状に私は一瞬下を向いた。すると「私がやつづけてあげる!!」なんとも頼もしい未来だと思いました。

こすもすでは、子供たちの健康管理に加え、うがい手洗い手指消毒の強化、毎日行っていた遊具や館内、車両の消毒作業の回数を増やしました。また、学校休校・外出自粛が長く続いたことによる子供たちのストレスや運動不足が心配され、安房特別支援学校の協力を得て、中庭を使用させていただきました。子供たちが元気に笑顔で走る姿に心が癒される思いがありました。毎日の検温も一筋縄ではいかず、逃げ回る子供たちに振り回された日々でしたが、今では習慣となりました。子供たちが元気に過ごせる環境を提供し、ご家族が安心して託せる支援機関である為に、私たち支援者にできること、やるべきことを一人一人が考え、皆で共有し、学校や地域の皆様にご協力をいただきながら、前へ進んで行こうと思います。

子供たちの輝かしい未来をまもらなければならぬと、今まで以上に強く感じています。



新職員紹介

中里の家

支援員
植木 美鈴
うえき みすず

趣味 音楽をきくこと・クラリネット演奏
座右の銘 初志貫徹

中里の家

支援員
村田 美優
むらた みゆ

趣味 切り絵
座右の銘 一期一会

中里の家

支援員
明比 俊子
あけび としこ

趣味 家庭菜園
座右の銘 一日一善

中里の家

調理員
酒井 慶太
さかい けいた

趣味 バレーボール
座右の銘 為せば成る

中里
ワークホーム

看護師
平野 美幸
ひらの みゆき

趣味 体重測定
座右の銘 質実剛健

ふれあいショップ平砂浦で
お召し上がりいただけます。

各 300円



梅ジュース・梅ソーダ

中里ワークホームの梅シロップで作った

夏の一押し

暑い夏がやってきます。
この夏の一押し商品をご紹介します。
この商品は就労支援事業で作っている
製品で、その利益は働いていただいた
方々に工賃として支払われます。

冷やしラー油うどん 750円

写真はわがままを言って
蕎麦バージョンですが、
基本はうどんです。



極めつけは、冷やし肉蕎麦に
単品天ぷらを付けてみました。
このボリューム!!

冷やし肉蕎麦と単品天ぷら 1250円

和麺家中里の夏メニュー

ご来店是非お待ちしています。



夏野菜の素揚げ蕎麦 800円

みかん酢を少し効かせた汁で
お召し上がりいただけます。

最新情報はこちる



社会福祉法人
安房広域福祉会HP



ボランティア募集

中里の家・中里ワークホームでは、随時ボランティアを募集しています。
作業など一緒に参加して下さる方、心よりお待ちしております。
まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先・連絡先

● 中里の家
館山市中里288-1
TEL 0470 (28) 2022
FAX 0470 (28) 2023
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

● 中里ワークホーム
館山市中里291
TEL 0470 (28) 2422
FAX 0470 (28) 2424
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp

夏まつり 中止のお知らせ

毎年8月に開催しておりました「ふれあい夏まつり」は、中止とさせていただくこととなりました。